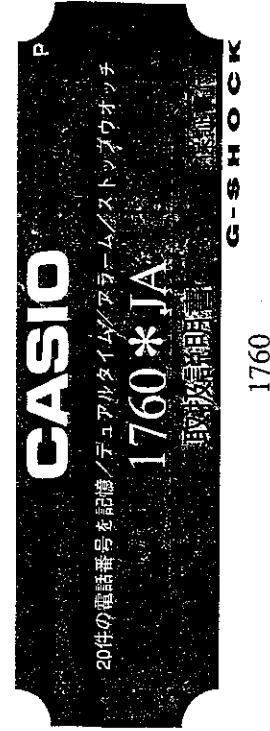


本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

カシオ計算機株式会社

Printed in Japan MA9805-006001A



20件の電話番号を記憶／デュアルタイム／アラーム／ストップウォッチ

1760 * JA

取扱説明書

1760

G-SHOCK

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。ご購入いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。ご購入いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご取扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なつても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただきながらお試しください。

◆本機の特長◆

- アナログ＆デジタル時計
アナログとデジタル時計で時刻を表わします。
- ELバックライト
暗いところでもボタン1つで表示を明るく照らします。
- デュアルタイム表示
現在時刻とは別にもう1つの時刻を表示させることができます。
- ファイル機能
最大20件の名前、電話番号を記憶します。
- アラーム・時報報知
任意の時刻にアラームを鳴らすことや、毎正時に時報を鳴らすことができます。
- トップウォッチ機能
1/100秒単位で55分59秒まで計測できます。

安全上のご注意

絵表示について

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

△危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

△警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

△注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)

○記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)

●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

△警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

△注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

！注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ①金属・皮革に対するアレルギー
- ②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、付属の備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。

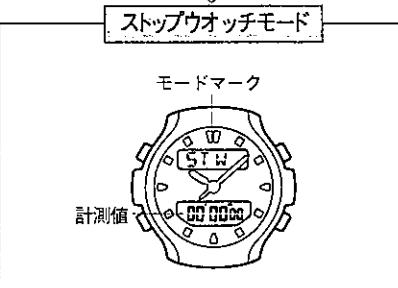
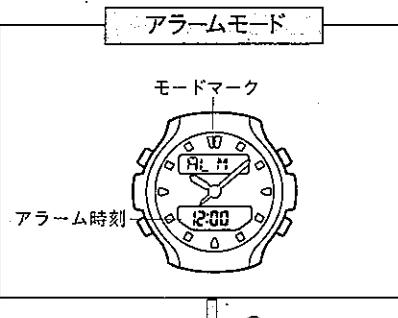
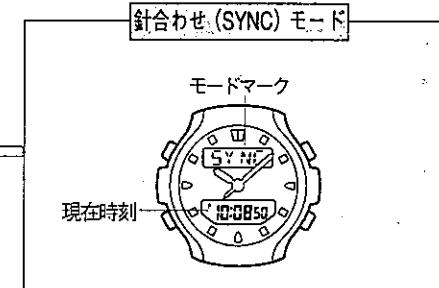
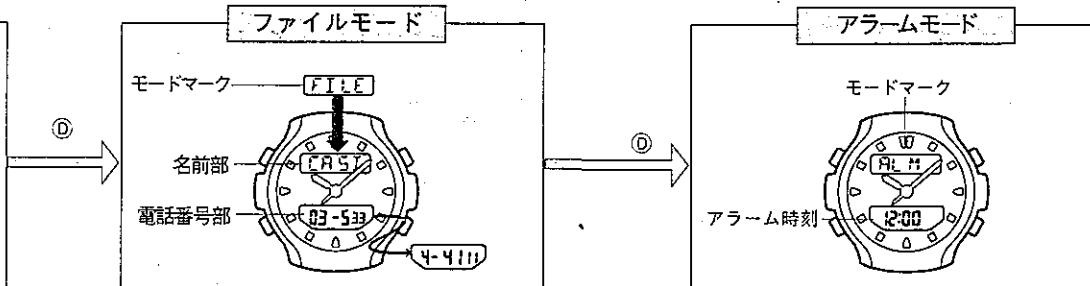
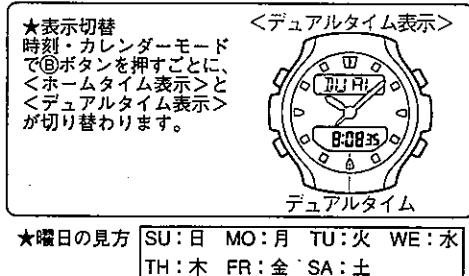
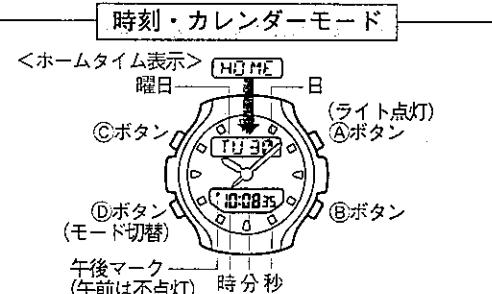
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



操作のしくみと表示の見方

※デザイン上デジタル表示部に反转液晶を使用している機種もあります。

④ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。



■表示照明用ELバックライトについて

どのモード（修正中は除く）のときでも、④ボタンを押すとデジタル部が約4秒間発光します。

→暗いところでも、デジタル部の表示を見るることができます。



＜ELバックライトの発光に関する注意事項＞

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中でもアナログ（針）部の表示は見えにくくなります。
- 発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

操作のしくみと表示の見方—4

表示照明用ELバックライトについて 5

ファイル機能の使い方—6

ファイル機能とは	6
データを入力する	6
データの呼び出し	8
データを修正する	9
データを消去する	9

アラーム・時報の使い方—10

アラーム時刻のセット	10
鳴っている電子音を止めるには	11
アラーム・時報のON/OFFの設定	11
モニターアラーム（アラーム音を選ぶ）	11

デュアルタイムの使い方—12

デュアルタイム表示にするには	12
デュアルタイムの合わせ方	12

ストップウォッチの使い方—14

計測のしかた 14

時刻・カレンダーの合わせ方—15

デジタル部時刻の合わせ方 15

アナログ（針）部の合わせ方 16

製品仕様 17

ご使用上の注意 18

お手入れについて 19

電池交換について 20

保証・アフターサービスについて 20

保証規定 21

保証書／カシオテクノ・サービスステーション裏表紙

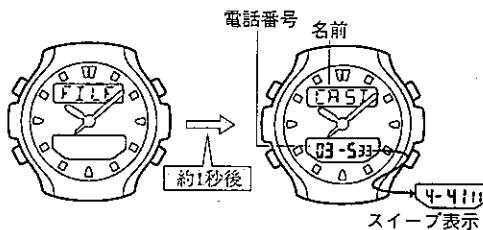
ファイル機能の使い方

■ファイル機能とは

名前4文字、電話番号12桁を最大20件まで記憶できる機能です。

●ファイルモードにすると

ファイルモードに切り替えると、前回一番最後に見たデータを表示します。
なお、電話番号の表示は文字が横に流れる「スイープ表示」となります。



■データを入力する

1件あたり、名前はアルファベットで4文字、電話番号の数字は12桁まで入力できます。

(1) 残りメモリー数表示にする

④ボタンを押して残りメモリー数(REST)を表示させます。



(残りメモリー数表示)

(2) 名前の入力(最大4文字まで)

④ボタンを約1~2秒間押します

名前部が点滅しているとき、以下の操作(文字を選ぶ、桁を選ぶ)を繰り返して入力します。

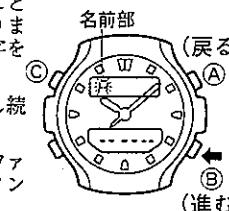
文字を選ぶ

④または④ボタンを押します

④または④ボタンを押すごとに点滅箇所の文字がかわりますので、表示させたい文字を選びます。

※④・④ボタンとも、押し続けると早く進みます。

※入力できる文字はアルファベット(A~Z)、ハイフン(-)です。



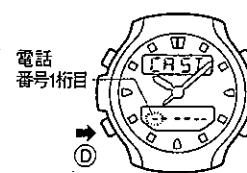
桁を選ぶ

④ボタンを押します

④ボタンを押すごとに点滅箇所の桁が右に移動しますので、文字を入力したい桁を点滅させます。



一名前の入力がすべて終わりましたら、④ボタンを押して電話番号1桁目を点滅させます。(右図)



(3) 電話番号部の入力

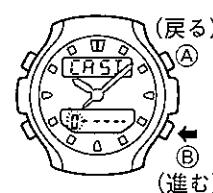
電話番号部が点滅しているとき、以下の操作(数字を選ぶ、桁を選ぶ)を繰り返して入力します。

数字を選ぶ

④または④ボタンを押します

④または④ボタンを押すごとに点滅箇所に数字が表示されますので、表示させたい数字を選びます。

※④・④ボタンとも、押し続けると早く進みます。



6

7

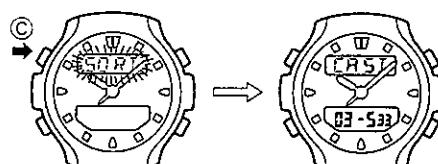
■桁を選ぶ

④ボタンを押します

④ボタンを押すごとに点滅箇所の桁が右に移動しますので、数字を入力したい桁を点滅させます。

(4) 電話番号入力後、④ボタンを押します

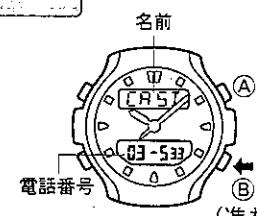
→ソート表示後、入力したデータを表示します。
※点滅表示のまま1~2分すると、自動的に点滅が止まります。
※続けてデータを入力したいときは、(1)~(4)の操作を繰り返し行ないます。
※データを入力すると、名前順に並び替え(自動ソート)が行なわれます。
*自動ソート…記憶されたデータは名前部の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順はアルファベット(A~Z)、ハイフン(-)の順です。



■データの呼び出し

ファイルモードのとき④ボタンを押します

→④ボタンを押すごとに名前順に進みます。



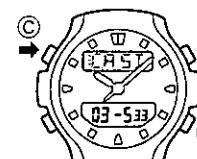
※押し続けるとデータが連続して進みます。

※④ボタンを押しながら④ボタンを押すと逆方向に進み、押し続けると連続して進みます。

■データを修正する

(1) ④ボタンを押して修正したいデータを選びます。

(2) ④ボタンを約1~2秒間押します。



(3) ④ボタンで修正したい箇所に点滅を移動させ、④・④ボタンで正しい文字・数字を表示させます。



(4) 修正が終わりましたら、④ボタンを押します。

→ソート表示後、ファイルモードに戻ります。
※点滅表示のまま1~2分すると、自動的に点滅が止まります。

■データを消去する

(1) ④ボタンを押して消したいデータを選びます。

(2) ④ボタンを約1~2秒間押します。



(3) ④・④ボタンを同時に押します。

→“CLR”表示後、データが消去されます。



(4) 消去が終りましたら、④ボタンを押します。

→ソート表示後、ファイルモードに戻ります。

※点滅表示のまま1~2分すると、自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報の使い方

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。
※アラーム・時報はホームタイムに合わせて鳴ります。

■アラーム時刻のセット

(1)アラームモードのとき、

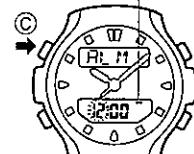
②ボタンを約1~2秒間押します アラームONマーク

→アラーム時刻の「時」が点滅します。

※アラームONマーク
(III)が点灯します。

(2) ①ボタンを押します

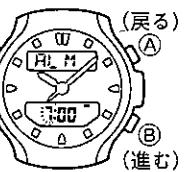
→①ボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅します。
点滅箇所の数字をセットできます。



(3) セット箇所を選びましたら、

③または④ボタンを押します

→③ボタンを押すごとに数字が進み、④ボタンを押すごとに戻ります。
※③・④ボタンはそれぞれ押し続けると早く進みます。



★「時」のセットのとき午前/午後(P)にご注意ください。
★ホームタイムを24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(4) セットが終りましたら、

②ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま1~2分すると、自動的に点滅が止まります。

デュアルタイムの使い方

デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。

※デュアルタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動して表示されます。

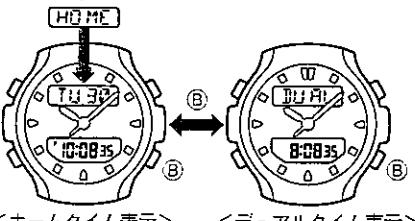
■デュアルタイム表示にするには

時刻・カレンダーモード<ホームタイム表示>のとき、

②ボタンを押します

→<デュアルタイム表示>となり、セットされている時刻を表示します。

※もう一度②ボタンを押すと、<ホームタイム表示>に戻ります。



■デュアルタイムの合わせ方

(1)<デュアルタイム表示>のとき、

②ボタンを約1~2秒間押します

→デュアルタイムの「時」が点滅します。

(2) ①ボタンを押します

→①ボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅します。
点滅箇所の数字をセットできます。

(3) セット箇所を選びましたら、

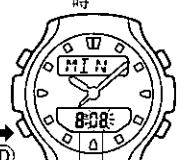
③または④ボタンを押します

→③ボタンを押すごとに数字が進み、④ボタンを押すごとに戻ります。

※③・④ボタンはそれぞれ押し続けると早く進みます。

★「時」のセットのとき午前/午後(P)にご注意ください。

★ホームタイムを24時間制表示にしているときは、デュアルタイムも自動的に24時間制表示となります。



■鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

■アラーム・時報のON/OFFの設定

アラームモードのとき、

②ボタンを押します

→③ボタンを押すごとに、マークが点灯／不点灯します。それぞれのマークが点灯しているときが“ON”となり、アラーム・時報が鳴ります。

アラームONマーク(III)



時報ONマーク(A)

※なお、②ボタンを押してアラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラーム“ON”に設定されます。

(4) セットが終りましたら、

②ボタンを押します

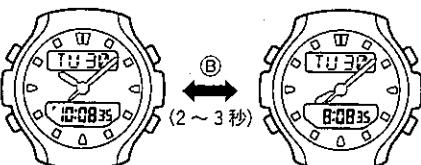
→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま1~2分すると、自動的に点滅が止まります。

★ホームタイムとデュアルタイムの時刻切り替え時刻・カレンダーモードのとき、②ボタンを約2~3秒間押すと、ホームタイムとデュアルタイムの時刻を切り替えることができます。

※時刻切り替えを行なうと、アナログ部の分針が正転方向(進む方向)に進み、自動的にホームタイムの時刻に設定されます。

※もう一度②ボタンを約2~3秒間押すと、元の表示に戻ります。



例) ホームタイム→午後10:08
デュアルタイム→午前8:08
例) ホームタイム→午前8:08
デュアルタイム→午後10:08

■モニターアラーム(アラーム音を選ぶ)

どのモードのときでも②ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

※ストップウォッチモード以外の各モードで、②ボタンを押し続けている間、③ボタンを押すごとに電子音が4段階で切り替わりますので、お好きな音を選べます。

ストップウォッチの使い方

本機のストップウォッチは、1/100秒単位で59分59秒99(60分計)まで計測できます。計測時間がこの計測範囲を超えると、以後0に戻って繰り返し計測を続けます。

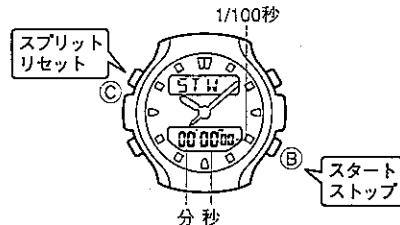
■計測のしかた

準備: ①ボタンを3回押してストップウォッチモードにします。

②ボタンを押すごとに計測開始/終了します。

※計測中に③ボタンを押すと表示が止まり*、スプリットタイムを表示します。もう一度③ボタンを押すとスプリットが解除されます。

*スプリットタイム表示中でも内部では計測を続けています。



●通常計測

② → ② → ③
スタート ストップ リセット

<積算計測>

ロストライムのある場合は、ストップ後リセットせずに③ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム計測(途中経過時間計測)

② → ③ → ③ → ③ → ② → ③
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット



●1・2着同時計測

② → ③ → ③ → ③ → ③ → ③ → ③
スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイマ表示 リセット
(1着タイマ表示)

14

★「時」のセットのとき午前/午後(P)または24時間制にご注意ください。

★12/24時間制表示切り替えは、「12H」または「24H」が点滅しているときに④ボタンを押します。(押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります)

※デュアルタイム、アラームモードでの時刻も、ここで選んだ時制で表示されます。

★年は西暦で1995~2039年までセットできます。

★カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。

(2) セットが終わりましたら、⑤ボタンを押します。

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま1~2分すると、自動的に点滅が止まります。

★デジタル部の時刻を修正すると、アナログ部の分針が修正した分だけ、自動的に正転方向(進む方向)に進みます。(針は逆方向には進みません)

■アナログ(針)部の合わせ方

電池交換後など、アナログ時刻が合っていないときは、以下の手順でアナログ時刻を合わせてください。

SYNC 準備: ①ボタンを4回押して針合わせモードにします。

(1) ⑤ボタンを約1~2秒間押します。

→デジタル部に現在時刻が表示され、点滅します。

(2) ⑥ボタンを押します。

→分針が正転方向(進む方向)に進みますので、デジタル部の時刻と同じ時刻を表示させます。

※⑥ボタンを一回押すと、1/3分(20秒)進みます。

※押し続けると早く進みます。

(針は逆方向には進みません)

★分針の自動早送り

⑤ボタンを押し続けている間、⑥ボタンを押すと、分針が自動的に早く進みます。

※いずれかのボタンを押すと分針が止まります。

※時針が一回りすると早送りが止まります。

(3) セットが終わりましたら、⑤ボタンを押します。

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま1~2分すると、自動的に点滅が止まります。

時刻・カレンダー① 合わせ方

電池交換後などで、時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の手順で合わせてください。

■デジタル部時刻の合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードホームタイム表示>のとき、

⑤ボタンを約1~2秒間押します。

→「秒」が点滅します。

●「秒」合わせ…±30秒以内の遅れ/進みの調整

時報に合わせて、
⑤ボタンを押します。

→「00」秒からスタートします。

00秒になる

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分くりあがって「00」秒になります。
(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)

■製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz

精度: 平均月差±20秒以内

基本機能: 時刻表示

アナログ部 時・分(2針)

デジタル部 時・分・秒、午前/午後(P)/24時間制表示

カレンダー表示

日・曜日、フルオートカレンダー(1995~2039年)

デュアルタイム表示

ファイル機能: 名前(4文字)と電話番号(12桁)を最大20件までメモリー、自動ソート機能、残りメモリー数表示

アラーム機能: セット単位=時・分

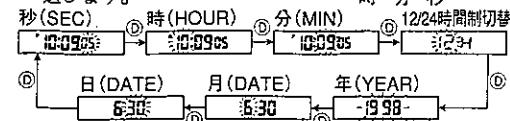
電子音=20秒間

時報 每正時に2回電子音で報時

●「時刻・カレンダー」合わせ方

a. ①ボタンを押します。

→点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、①ボタンを押してセットしたい箇所を選びます。

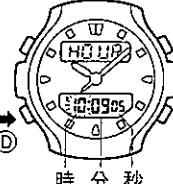


b. ②または④ボタンを押します。

→②ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、④ボタンを押すごとに数字が戻ります。

※②・④ボタンとも押し続けると早く進みます。

上記a、bの操作を繰り返して「時刻・カレンダー」を合わせます。



ストップウォッチ機能:

計測単位=1/100秒

計測範囲=59分59秒99

(60分計)

計測機能=通常計測、積算計測、スプリットタイム計測、1・2着同時計測

その他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、モニター/アラーム、ELバックライト

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI

使用電池: 時計用=SR920W×1

ライト用=SR621W×1(電池別途販売)

※電池はカシオ指定のものをご使用ください。

電池寿命: 時計用=約2年(1日あたり電子音を20秒間使用した場合)

ライト用=約2年(1日あたりライト4秒間使用した場合)

ただし、ライト使用条件によりライト用の電池寿命が短くなることがあります。

1日あたりライト8秒間使用したとき…約13年

ご使用上の注意

■防水性

- 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング(深潛)	×	×	○	○

*「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

*専門的な潜水=スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

- 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。

防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

- 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できませんが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとつください。

防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なバッキン交換をおすすめします。

- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用している

18

モデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがあります、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。運れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●+60°C以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。

●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

■磁気

●(JIS 1種耐磁時計) 本機は磁気の影響を受けにくい構

造をとっていますが、強い磁気を発生する器具に密着、あるいは近づけることはお避けください。強い磁気の影響を受けると一時的に進み遅れが生じることがあります。

■薬品類

●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータは備忘録やノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」

・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。

※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。

・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」

・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」

・皮膚の弱い方やアレルギー体质の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことと、時計本体価格に電池代は含まれておません。

※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立つたり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

20

19